# スケルトンウォール
# （折れ戸方式）
# 取 扱 説 明 書

# 安 全 上 の ご 注 意 （必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を
未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の
　表示で区分し、説明しています。

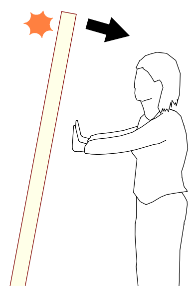
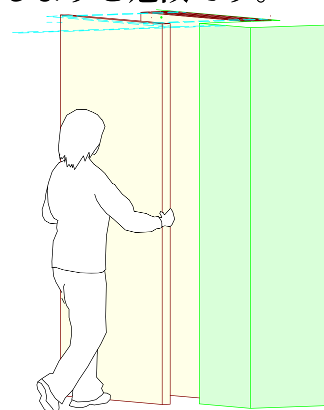
| | | |
|---|---|---|
|  | 警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 | 誤った取扱いをしたときに、損害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性が想定される内容を示しています。 |

●お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しております。

| | | |
|---|---|---|
|  | 警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 | 誤った取扱いをしたときに、損害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性が想定される内容を示しています。 |

## ご 使 用 に な る 前 に お 読 み 下 さ い

 警告

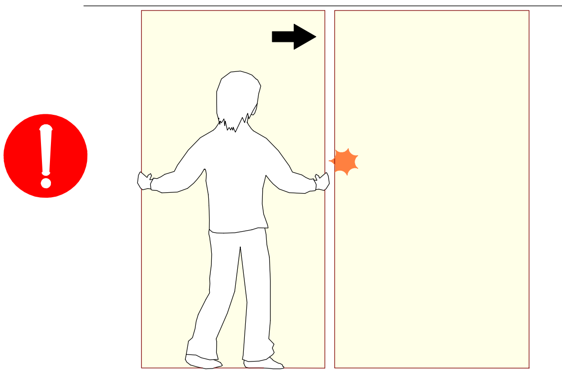
| | |
|---|---|
| パネルにぶら下がったり、もたれ掛かったり物を立て掛けないでください。パネルが揺れて思わぬ事故やけがにつながります。<br>  | パネルを移動する際は間仕切る部分に障害物がないか確認の上パネル端部を両手で持ちながら、ゆっくり移動させてください。早く移動したり手を離して移動しますと危険です。<br>  |

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

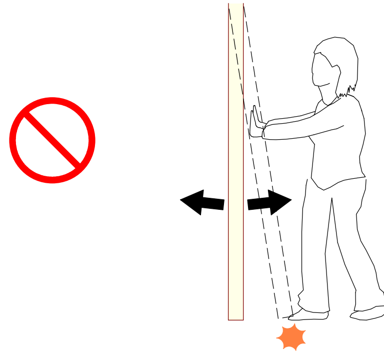


警告

各パネルをセットするときは、前のパネルと
移動パネルとの間に手をはさまないよう
ご注意ください。けがをすることがあります。



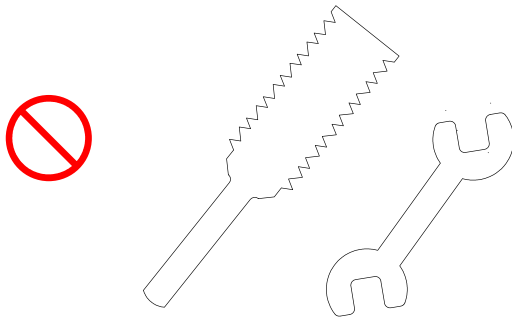
固定されていないパネルを揺らさないで
ください。パネル下部と床との間に足
（つま先）をはさんだり思わぬ事故やけがに
つながります。



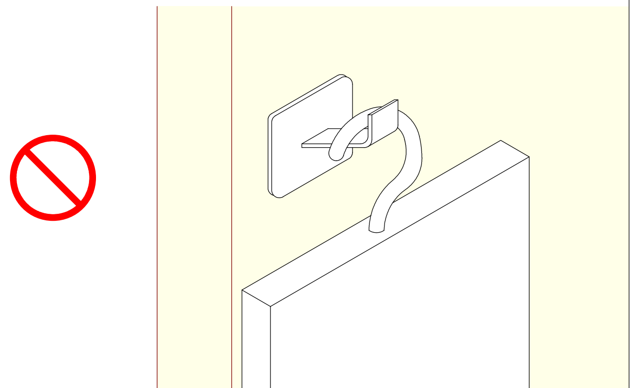


注意

パネルの改造、加工等は絶対しないでください。
また専門業者以外でパネルの取り外し、
修理等は絶対しないで下さい。思わぬ事故や
けがにつながります



パネル表面に金具等の使用により物を吊り
下げないでください。落下によりけがをする
ことがあります。

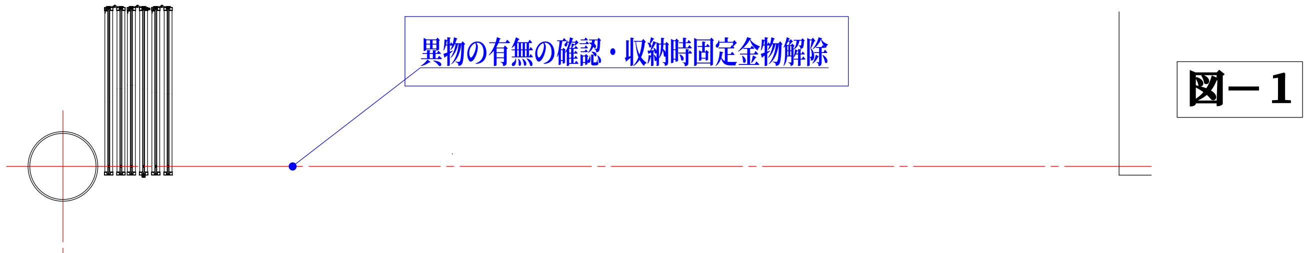


# 基本操作方法

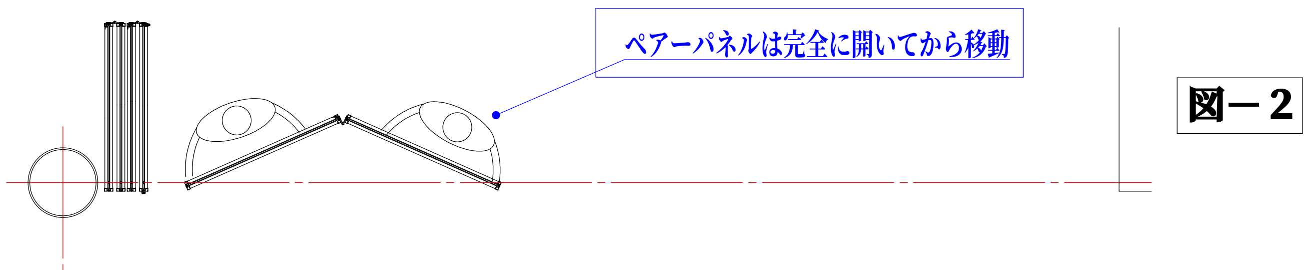
（折れ戸方式）

**ガラス折れ戸設置方法（操作の際は確実に２名以上で操作して下さい。）**

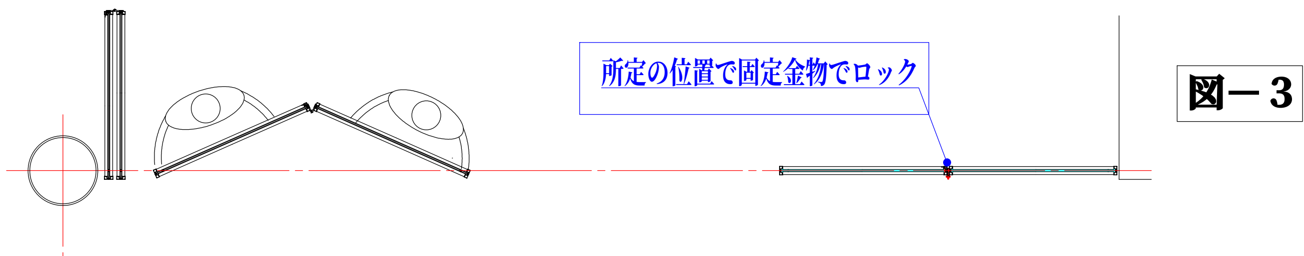
**１．床ガイドレール内に異物がないか確認しをする。収納時に固定金物等を使用している場合は固定を解除する。（図－１）**



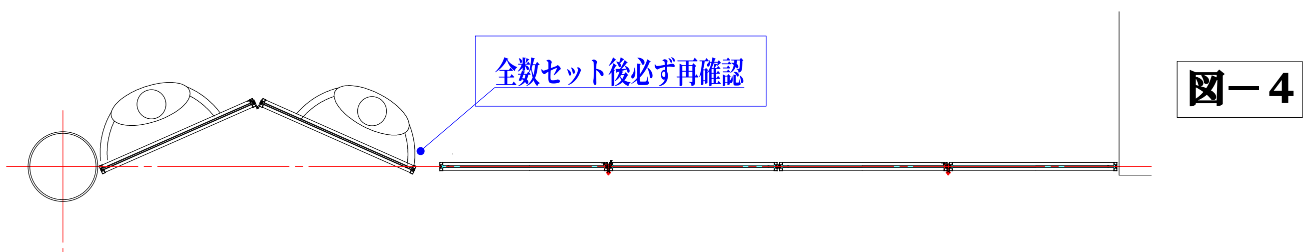

**２．パネルを１セットずつ静かに引き出します。フレームに引き手等のある場合は必ず使用して下さい。ペアーパネル方式（両端が移動するタイプ）は収納位置から少し離れた所で完全に開いてから所定の位置まで移動させて下さい。パネルを折ったまま移動させると床レールからローラーが外れる等の不具合を起こすおそれがあります。（図－２）**



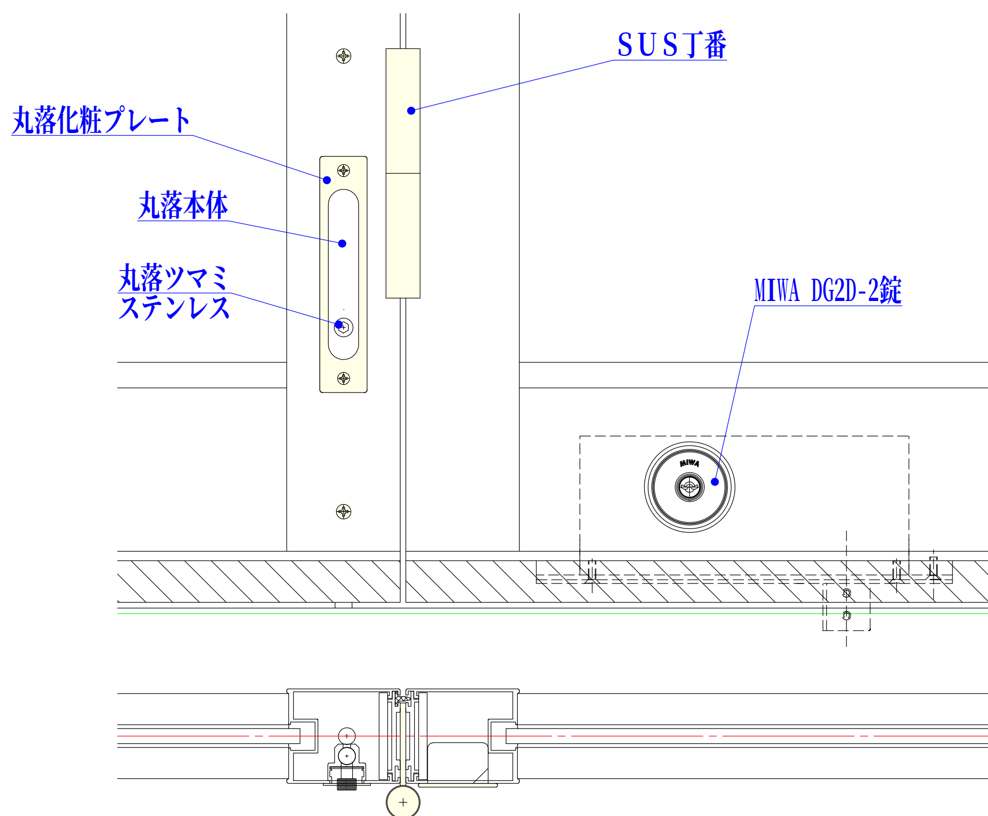

**３．所定の位置まで移動させたらフレームに付属の丸落とし金具もしくはシリンダー錠を作動させて確実に固定します。固定操作後、確実に固定されているか確認します。　その後同じように１セットずつパネルを取り出し同様の操作を繰り返しパネルをセットしていきます。（図－３）**




**４．最後のパネルをセット後、念のため全パネルのロックを確認します。問題が無ければ終了となります。収納する際は逆の操作となります。収納時は寄りかかるなど予期せぬ力が働くと重大な事故もしくは不具合に発展するおそれがあります。パネル収納時は特に徹底した管理を行って下さい。**



5．折れ戸の固定について通常は丁番吊り部の下部に面付内蔵丸落としが付いています。
所定の位置でツマミを下げて固定して下さい。　オプションでＭＩＷＡ製のＤＧ錠が
付属しているタイプもあります。その場合は所定の位置でシリンダーもしくはサムターンを
まわして固定して下さい。（ペアーパネル式はＤＧ錠単独の固定はありません。補助の
丸落とし金具を併用して固定下さい。）




# 警　告

移動ガラススクリーンは以下の項目を正しく守りご使用下さい。

○パネル操作時は必ず両手を使い一セットずつ静かに動かして下さい。
○ハンガーレール・パネル等を改造したりしない。
○丸落とし等付属金物がある場合は確実に使用して下さい。
○パネル本体にぶら下がらない、寄りかからない、強い衝撃を与えないで下さい。
○特殊操作等があるパネルにつきましては説明書を良く読み同じ操作法を実施して下さい。
○移動ガラススクリーンを安全に使用して頂くため必ず定期保守点検を行って下さい。

※使用頻度の多い場合は

半年～１年を目安に定期メンテナンスを必ず行って下さい。

（ランナーのグリスアップ・パネル建付調整・増締め等）

※その他当物件の注意事項については次ページ以降をご参照下さい。